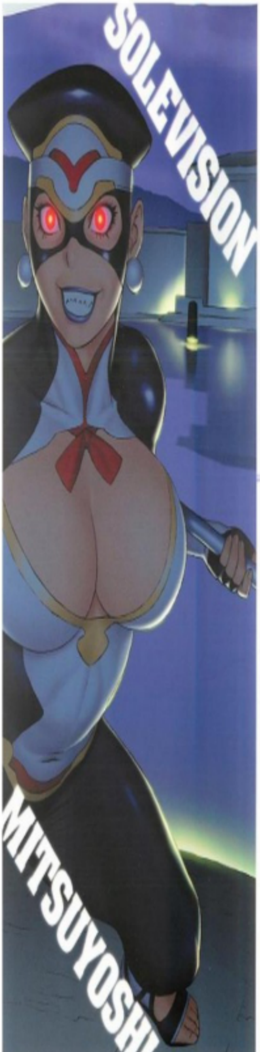
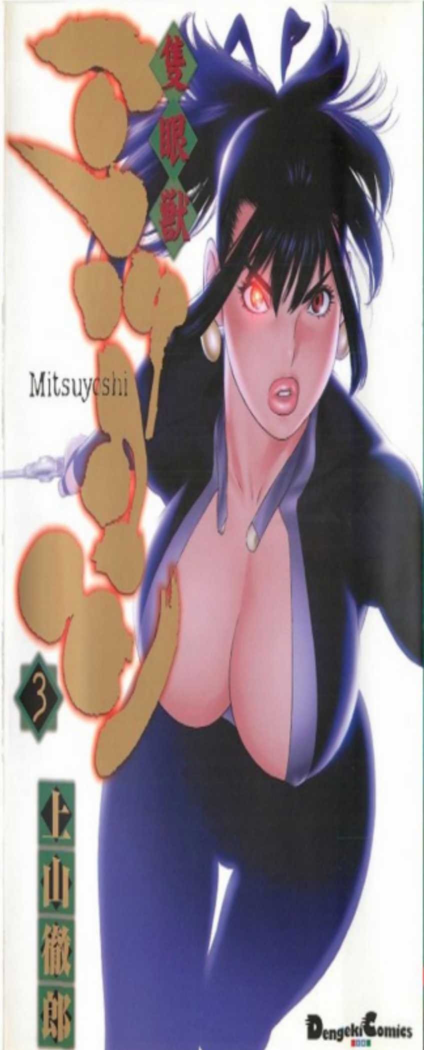




DC

隻眼獣ミツヨシ 3

上山徹郎

DE-77-3

発行 メディアワークス

9784840240451

1920979009509

ISBN978-4-8402-4045-1
C0979 ¥950E

MediaWorks

発行●メディアワークス

定価：本体950円

SOLEVISION MITSU

SOLEVISION
MITSUYOSHI
隻眼獣
Mitsuyoshi
3
上山徹郎
Dengeki Comics
隻眼獣ミツヨシ
3
上山徹郎
9784840240451
1920979009509
ISBN978-4-8402-4045-1
C0979 ¥950E
MediaWorks
定価 本体950円
SOLEVISION MITSU

Dengeki Comics
隻眼獣ミツヨシ
3
上山徹郎
Dengeki Comics

隻眼獣 ミツヨシ

Mitsuyoshi

第参巻

隻眼獣ミツヨシ　1・2巻　あらすじ

第1巻

3年前の原因不明の大火により2人の世継ぎを失った将軍家は、類縁から嗣千代（まつちよ）を新たな後継者として迎えた。ある日、嗣千代は退屈な日常に飽き江土城を抜け出し、不思議な隻眼の剣士・密厳（ミツヨシ）と出会う。飄々とした中に強さを持ったミツヨシに興味を持つ嗣千代。そんな嗣千代の姿を伺う影があった。真田虫幽士である。巨大な獣に変貌する化身の術を使う覚獣像と由利顎助。しかしミツヨシは超絶の剣技と隻眼の力で勝利をおさめる。隻眼とは？　そして真田虫幽士の真の狙いは？

第2巻

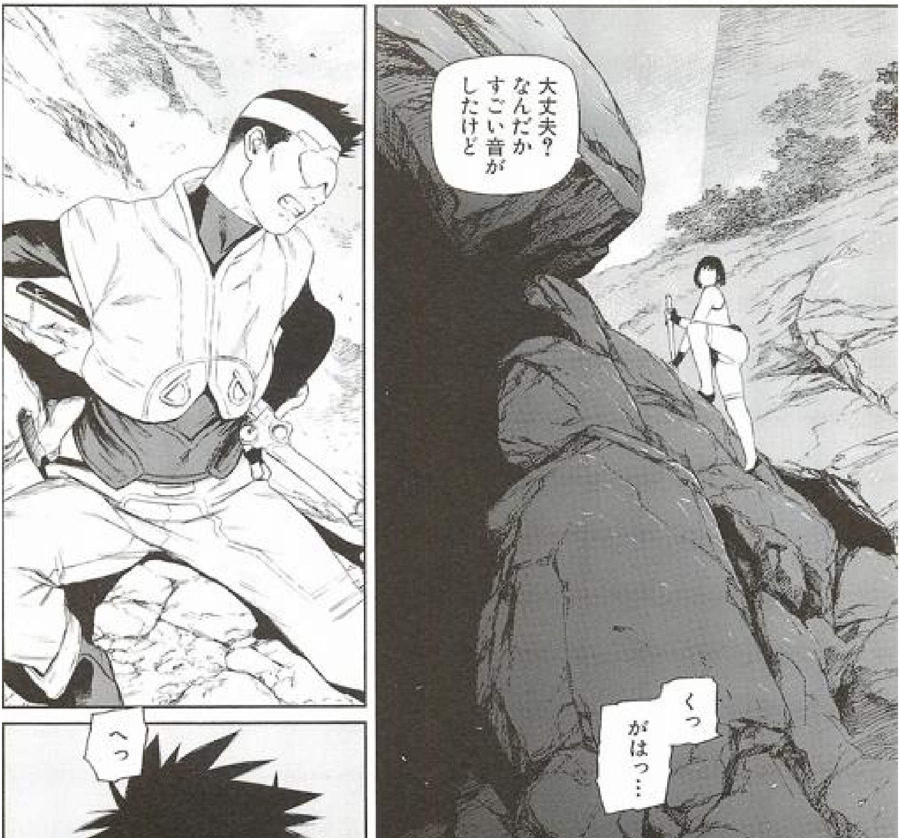
江土城をあげて「御奉納の儀」が行われる。江土城が多くの臣下でごった返すその時こそが、真田の狙い目であることは明白であった。しかし、平安に慣れた家人たちは真田の脅威を解せず、唯一、駒冬のみが暗鬼を率い備えを固めていた。やがて奉納の儀が始まり、嗣千代の演舞の時となった。ついに姿を現す真田虫幽士・望月助牢。布を自在に操る、忍術は警備の者を翻弄し嗣千代は拉致されてしまう。追撃する駒冬の前に新たなる虫幽士・三好錆塊、三好尉授が立ち塞がる！

隻眼獣
Mitsuyoshi
3
上山徹郎

隻眼獣ミツヨシ3 目次

第22話 5頁
第23話 29頁
第24話 49頁
第25話 73頁
第26話 93頁
第27話 109頁
第28話 125頁
第29話 146頁
第30話 165頁
第31話 181頁
第32話 197頁

だっ
うぐっ
パラ
パラ


大丈夫？なんだかすごい音がしたけど
くっ
がはっ…
へっ

平気です なんの これしき
あいたた
朱膳さまは かまわず お先に！
お先に って…
ちゃんと ついてくる ようにね！ 加勢にきて もらってるん だから
胸冬 さま
もう！

ひとりで登れるっていうのに
豹牙まで私を子供扱いして！
お気に障りましたらご容赦を
なにぶん不安定な足場です
油断をしていると…
ズルッ
おおっ!!
ドッ
ガッ
ゴロゴロ
ザザザ
ああいうことにもなります
ザザッパァアァン

なんてこと…
まるで水路の網
これが大権現さまの御霊場!?

手抜かりもいいところだわ儀式を守ろうといって…
周りの水路をいくら塞いでまわっても
肝心の奥社がこれじゃまるで意味がないじゃない！
……
恐らくは
ふぁいとーっ いっぱーーつ

ここだけではないでしょう
どういうこと?
三年前
火災を機に城内の多くの施設が新造されましたが―
その際古い施設の記録までもが大量に破棄されたのです
かつて治水のために網の目の如く敷設された江土の水路
現在ではその全貌を知る者は幕府にさえおりません
もし

我々の知らぬ水路が他にも残っているとすれば
そして敵方だけがそれを知っているとすれば
奴らが柳営に侵入したのではない
我々は最初から敵地の只中にいるも同じということです
ぎゃあ
!?

?
どうしたの？
死体です
知ってるわよ もう 飽きるほど 見たでしょ
いえ そうではなく…
死に方のことです
え？

おかしいと思っていました先程から…
死体の傷が一様ではないのです
敵があの大男ひとりならば
こうはならないはず…
同士討ちです

!!
なっ…

何をするの!?
胸冬さまご無事ですか!
きさま何を血迷って…
ふーっ
ふーっふーっ
まさか……
霞衣か!
!?

胸冬さま！
豹牙 何なの その…
霞衣と いうのは
霧です
先刻から 城内にたちこめる この霧……
霧に含まれる毒気が 刀身から侵入し 剣士の精神を 錯乱させる
これが 忍法霞衣！
魔人 霧隠一族の 能力です

錯乱!?
私は何ともないわよ
所詮は小手先の幻術
適度に練成された剣士の胆力には通用しません
とはいえ
現在の江土城の衛りを崩すには充分だったようですが…
うがぁおーっ

その霧隠という敵はどこ!?
わかりません
味方にさえ滅多に姿を見せないという特殊な一族です捜しても無駄でしょう
元に戻す方法は!?
幻術は刀身を通じてかけられます刀を手放せばおそらく…
刀を……
それくらいなら!
がぁあぁあっ

!?
んあっ…

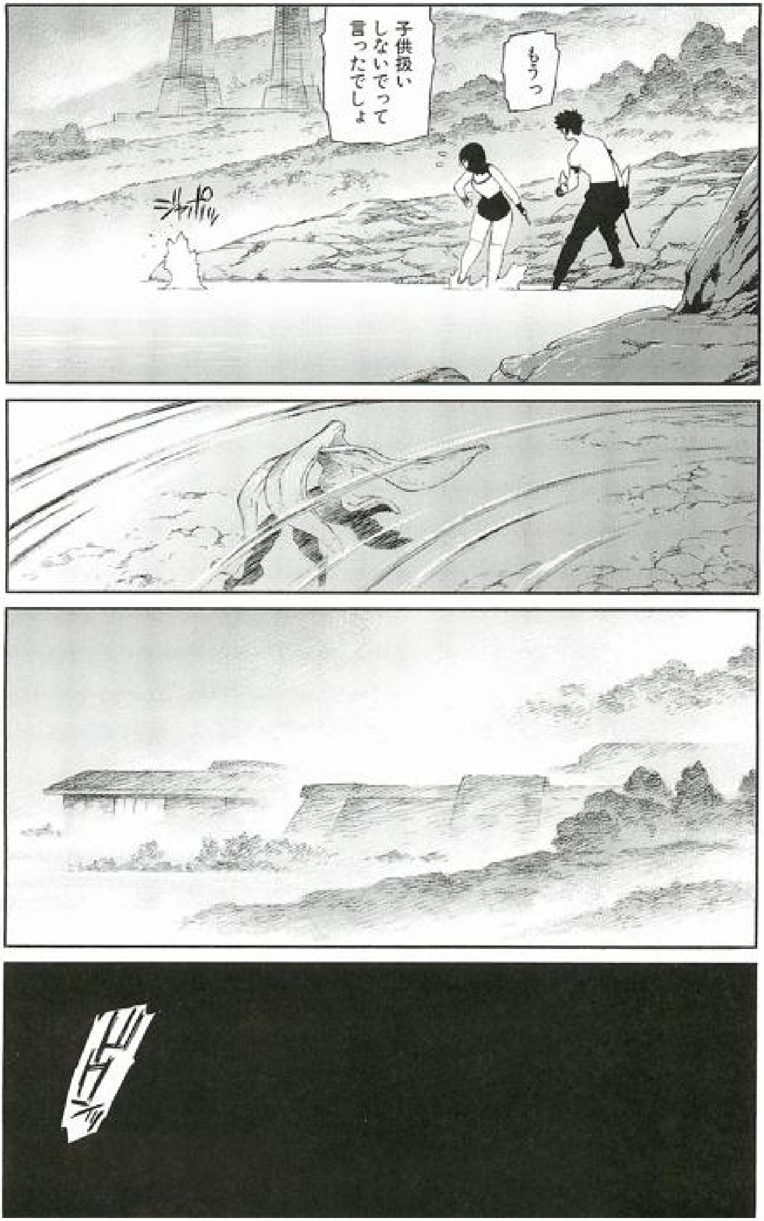
ふーっ
ふーっ
ふーっ

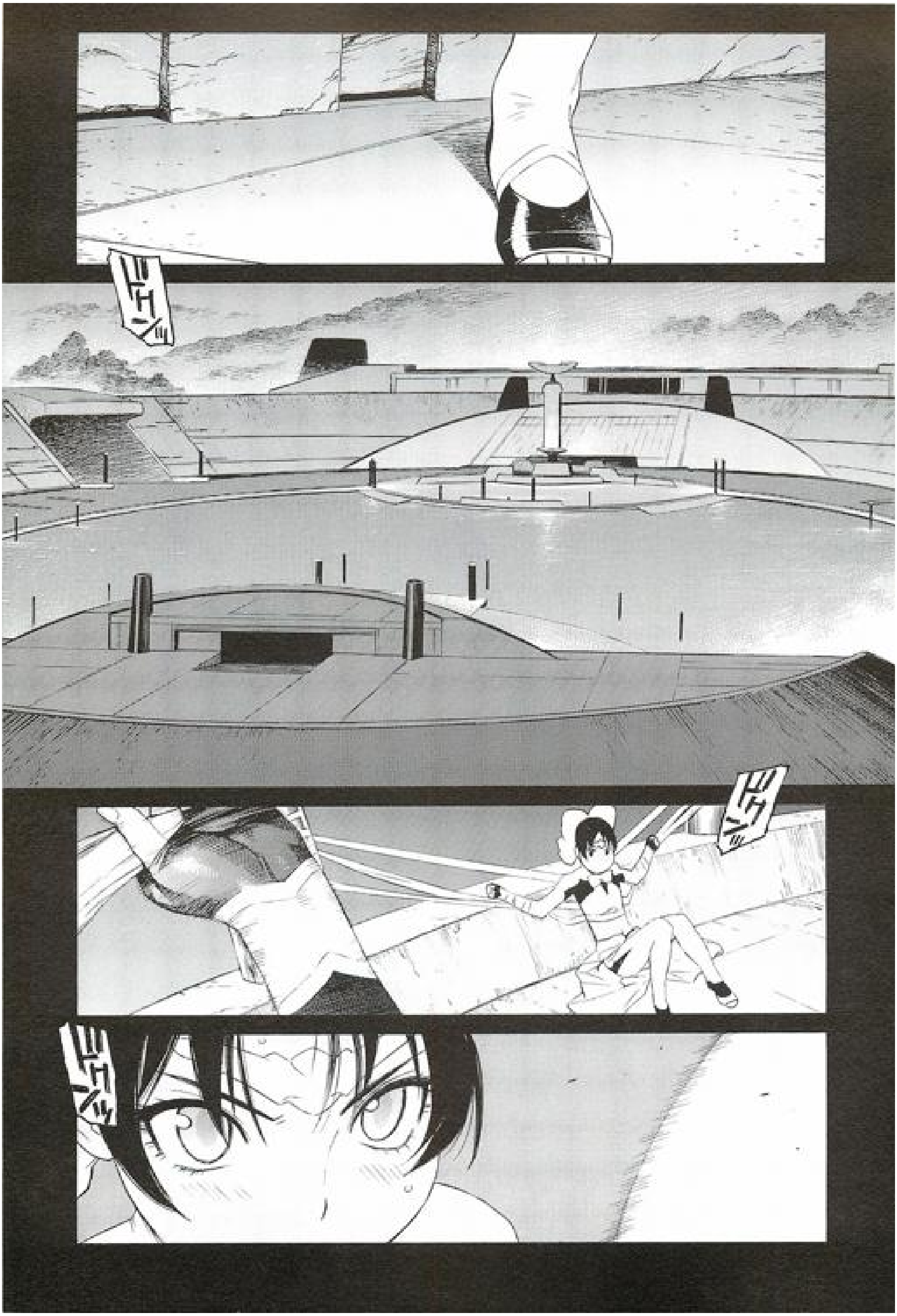
バシャ
えーと……
何？
バシャ
バシャ
どうかしたの
ちょっと隼！
チャッ
面目ない

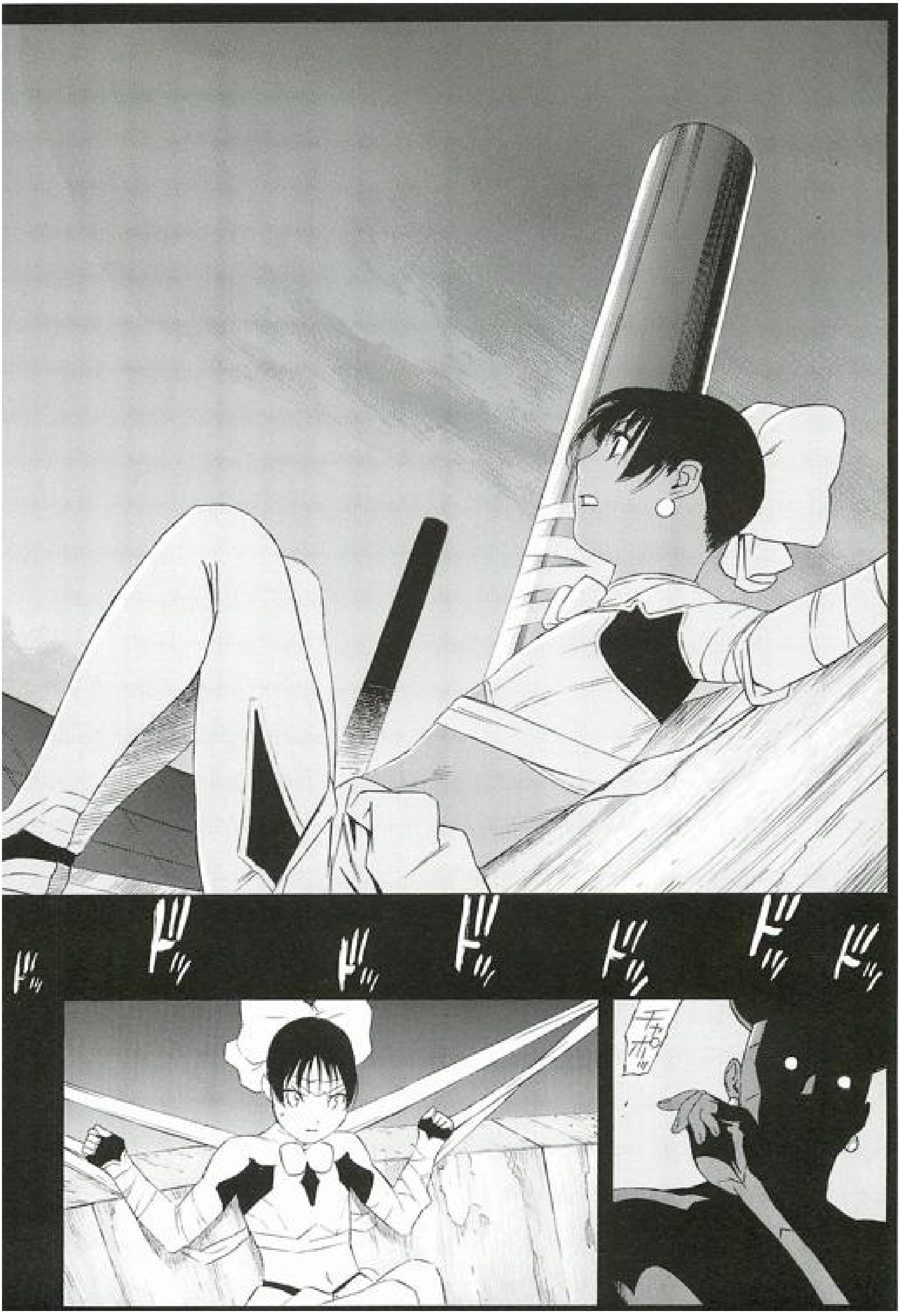
ぐっ
ばっ
ガぁああっ

唯常さま
お怪我は？
ないわ
ご気分に
変化などは
別に…
てーゆうか
あなたたち
何してるのよ
いきなり
殴りあって
さすがですね
先を
急ぎましょう
話は
みちみち
あっ…
ちょっと
待ちなさい
よっ！

……
胸冬さま


もうっ
子供扱い
しないでって
言ったでしょ
ジャポッ




ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
チャポッ

きゃ〜〜〜っ いやんいやん もお 超ビックリ 〜〜〜〜っ！
こないに かわいい子 やったの!? 幸斑さまも ステキ やったけど
ばた ばた ばた ばた
今度の若君も 超〜〜〜〜 うち好みやん もお〜〜〜
うち 困ってまう わ〜〜〜〜っ!!
ばたばた
……なっ
ん？
何が望み だ？

ペタン
望みやなんて…
そないに大層なもんちゃうのよ
ただな
うちら若君と仲良うなりたいだけやねん
だからと言って…
儀式の最中なのだぞ！会いたければ正式な手順を
あーっあかんあかん謁見なんて
こわ〜〜〜い幕閣の爺さま方に睨まれながらちょっぴり顔見るだけで終わりやろ？
そんなん会うたうちに入らんわ
うちらが欲しいのはもっと…

ロマンティ〜〜〜〜〜〜ック
な
カ・ン・ケ・イ♡
で
うちの仲間たちが言い出してな
ちょいと荒っぽい自己紹介をすることになったわけ
うちの役目はその間
若君のお相手をすること

だからまあ
そないに
構えんと
ひと区切りつくまで
若君はここで
のんびりしてて
くれれば…
もうひとつ
訊きたい
わしと
仲良くなって
何とする？
ペチ
!?
これ
バナナって
ゆうんやて？
ペリー
うちは今日
初めて食うたん
やけどな…
そらもー
ビックリや
こないに
甘いもんが
この世にある
なんて！
これを
好きなだけ
食えるんやから
ペリ
ペリリ…

さっすが
将軍さま！
こんな
お方と
仲良う
なれたら…
もお〜〜〜
〜〜っと！
甘い
もんが
食えるん
ちゃうか
なあ？
あっ

なあなあ若君！
うち面白い遊び思いついたんやけど！
なっ なに？
あのなっ あのなっ このバナナのなっ
こっちの端と…
こっちの端を
うちと若君が同時に食べてくねん！
たっ…食べたくない！
そない言わんとゼ〜ッタイ楽しいから
なっ！ ほらぁ若君！
！

ん～～～～～……

あっ…

胸冬！
ベチャッ
よく来てくれた……
祠千代さま頭を下げて！
うわっ
！

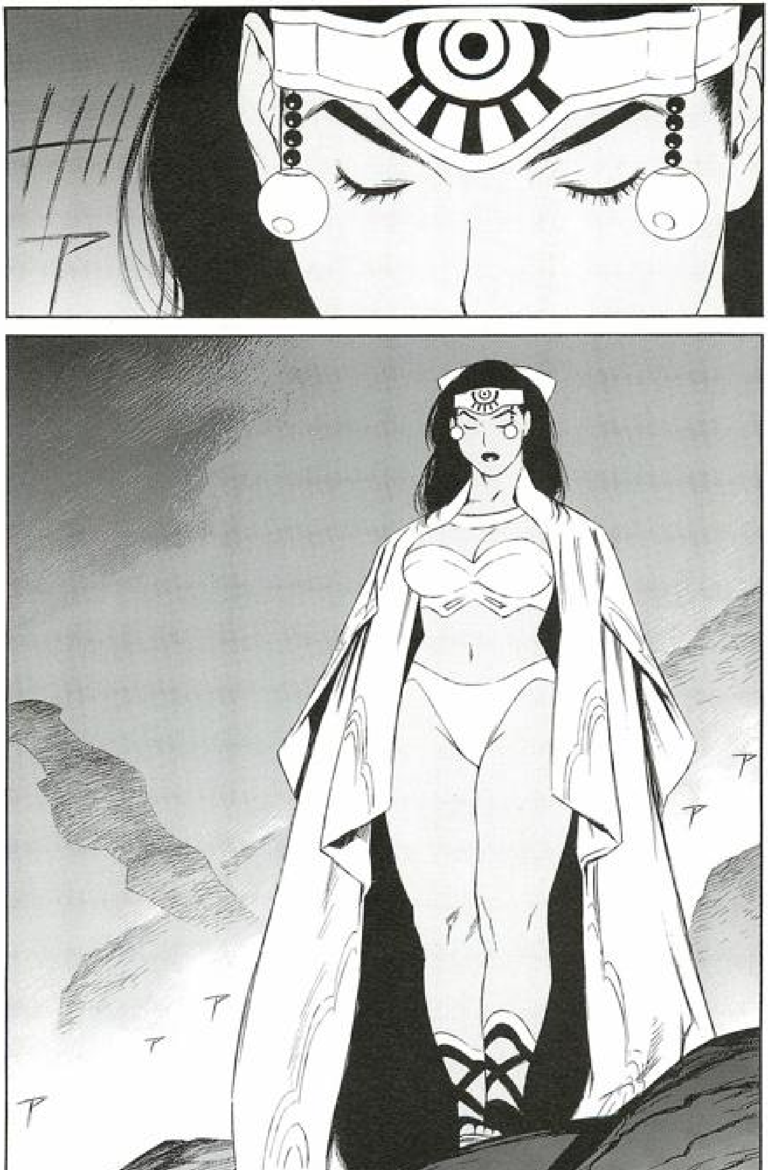
水中……!?

ゴゴ
ガ
ゴ

祠千代さまっ

このっ……!
ぶあっ

ザァアアア
そいつは穴山蠱介……
やりあうなら気をつけな
けっこう頑丈やからね…
ゴキッ
うちの次くらいには


ザァ

ぶえっくし
ぶるるる〜〜〜っ！
ますます冷えてきおった
どうしてこんなひどい目にあうんじゃ〜〜〜！
がんばってください！
あの大水に流されて命があるのだからむしろ好運ですよ
それに出口はもうそこに…
ズチャ
！！

でっ
出たあ――っ!!
おさがりください
くそっ どうしてこんな所に……
――次席老中
本多長棲どの
お話があります
シャア

賊めっ！
曇陰島（たねがしま）だと!?
あまり江土城の兵を…
なめるなっ！

あ……
ひっ
ひいいっ
ザァ
ザァ
わあああ〜〜〜っ!!

誰かっ
誰か助けてくれ〜〜〜〜〜っ!!
バシャ バシャ バシャ バシャ
だっ…
だあっ!?
ズルッ
ドシャァッ
ズル…
だ…
だれ…か…
チッ
ひっ!!

無駄ですよ
この水路は過去の遺物
とうの昔に捨てられ忘れられた……
つまり
我々の領域です

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ

胸冬さま
くっ……
うかつにとびこんでは危険です！
おのれ……
銅千代さまのそばでは強引に攻められないと思って
調子に
のっ
ん……

ふぁ
おーい
穴山ー！
そないムキに
ならんで
ええから
そいつら
テキトーに
追っ払ってえ
なーっ！
さっさと
せんと
うちと若君の
遊ぶ時間が
のうなって
まうがなー！
黙れ
バケモノ
めっ！
そんなに
言うなら
おまえから
相手に
なってや…
ばっ

な…？

ザッ
え!?
あっ
あなたは……

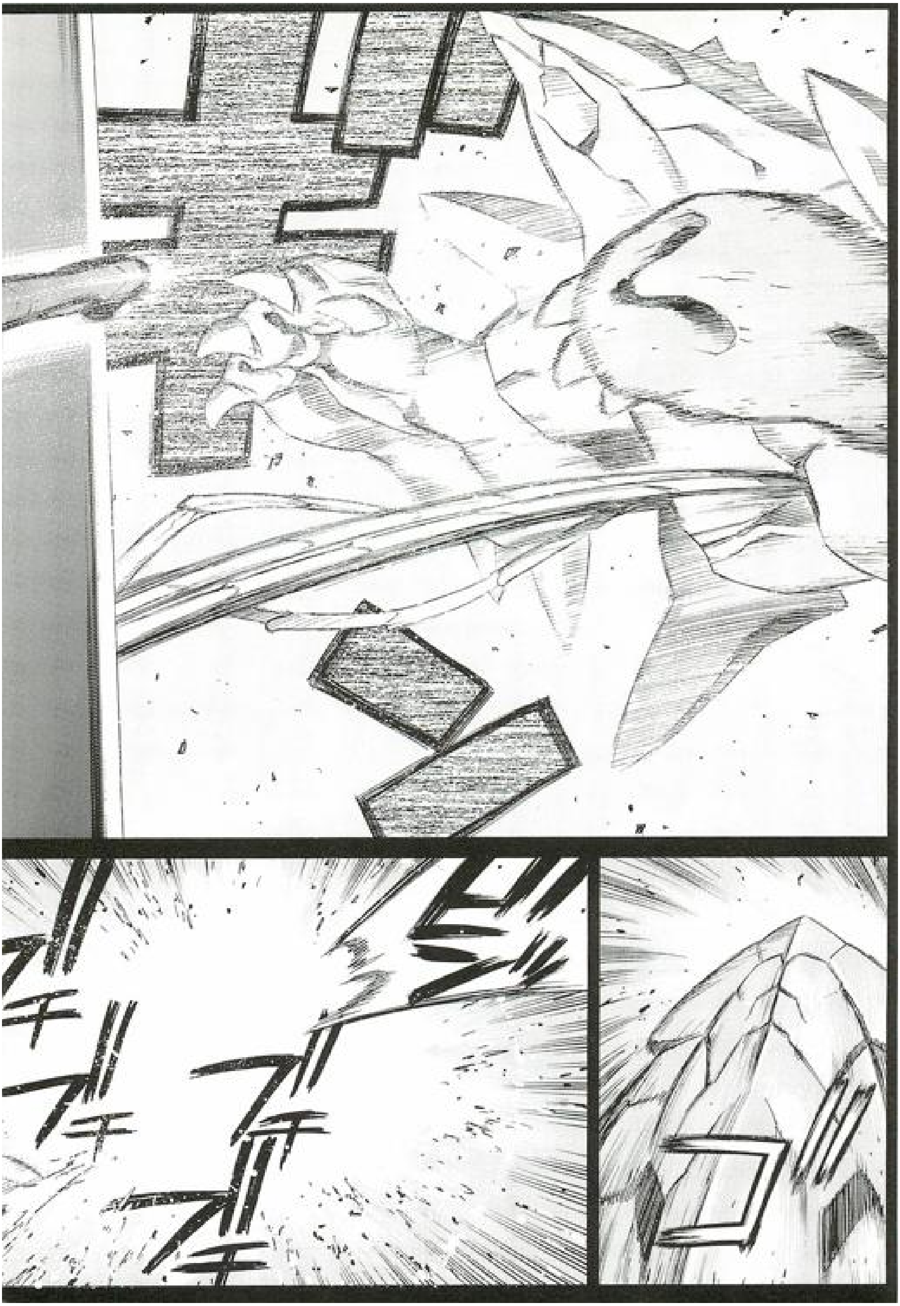
密厳!!

パキ
密厳さま
姉上！
ギギ!?
お待ちしておりました
姉上 よくぞご無事で…

ぶんっ
きゃあっ
バッ
密厳!?
胸冬
え?
あっ あの…
守れ!

姉上！
トッ

チッ


ブチ
ブチ
ブチ

次元がちがう……
これが
隻眼の力!!

はっ
ははは
はっ!!
ええねぇ

あんたが
柳生柔兵衛
かい！

ええね
ええね
ええね…
筧 由利 それに 尉扠
だれも かなわへん わけやわ
良かった わ

ええもん見せてもろたわ
チャ
聞きしにまさる隻眼の威力
ほんま見事なもんや驚いたで
でもまあ
これで……
うちが来た甲斐があるゆうもんやな！
パキッ

走れ
胸冬
え？
あいつの相手は
俺がする
おまえは
走って
逃げろ
しっ
しかし…
言った
だろ！
おまえは
銅千代を
守るんだ
合図したら
すぐに走って
………
いや
です！

おい…
どうしてそうなんです!?
誰も彼も…
いつまでも私を子供扱いして！
もううんざりです!!
これでは何のために心陰流を
!

ゴ

ドッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガガガ
ガガ
ガガ

オオオオ
ガゴン
ガッ
くっ
パッ

ははっ

ゴァ
キン
ヒュン

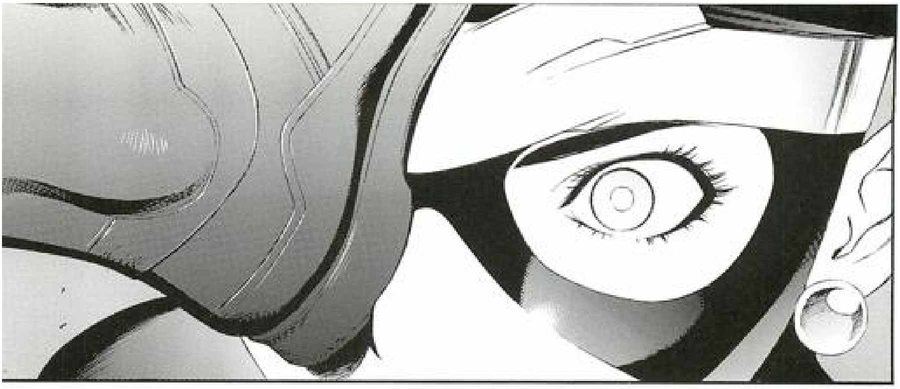
ドカンッ
わっ
密厳…！
ぐいっ
急ぎましょう祠千代さま
しかし……
いいから早く！
私たちがここにいてもできることは何もないのです！
できることなど…
ゴボ

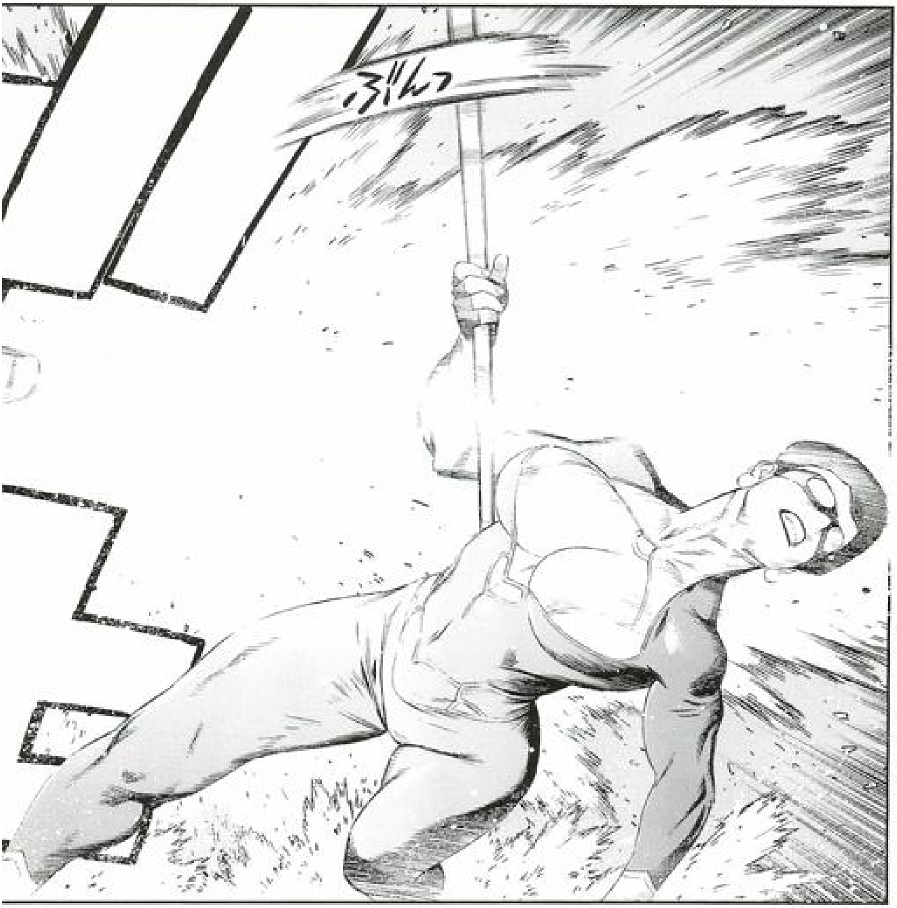
!!
胸冬さま
こいつまだ…
くっ

くそお!!
ぬぅ
あっ

ビュ
ガッ!

おあ

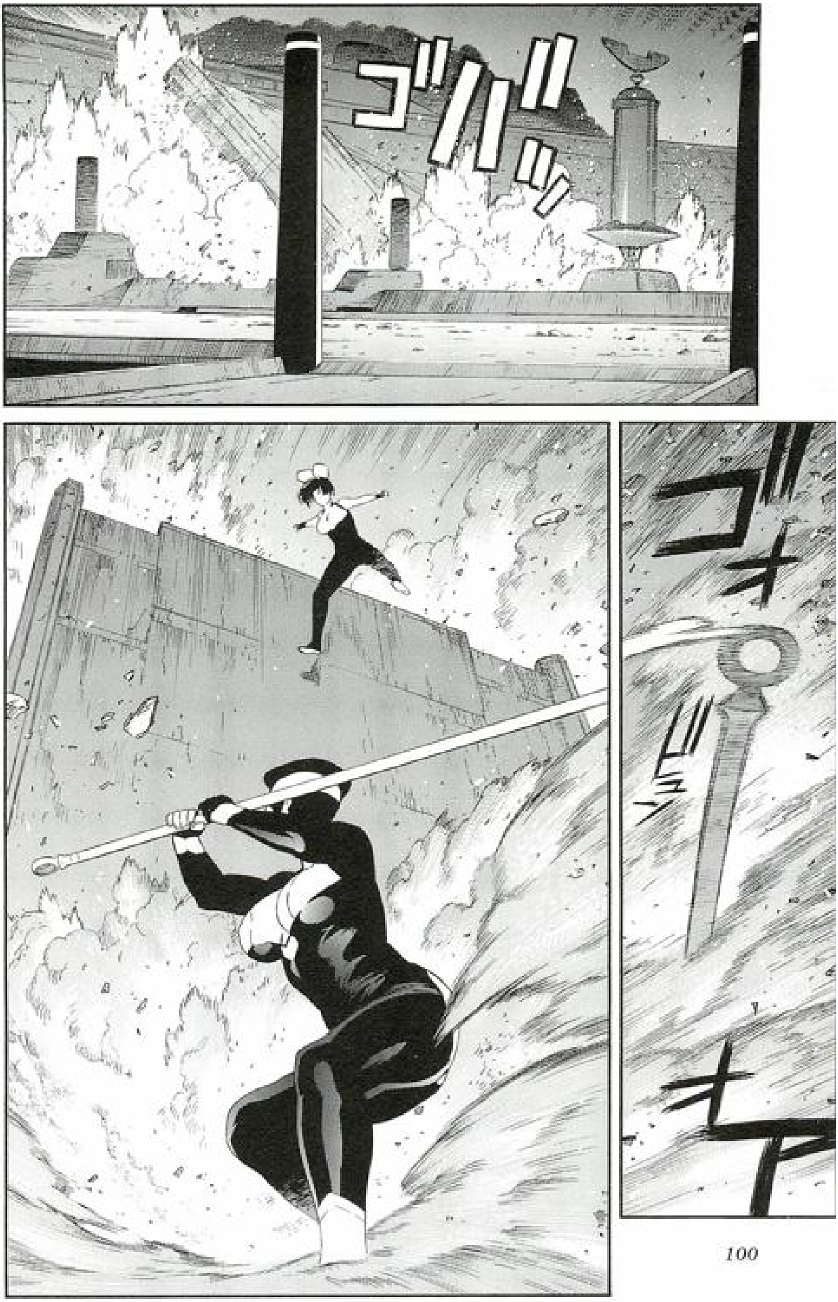



ぶんっ

ボフッ
ドシ
ふー
いたたた……
好き放題やってくれちゃって
さすがに
強いね
コキッ

おっかしいなあ…
なんで一発も当たらへんのやろ
自分じゃけっこう上手な方やと思ってたんやけどなあ…
自信なくすわー
なあ柔兵衛はん
一発くらい当たってくれへんかなー
あんたかてわかってんねやろ？
うちが……
チャ・・・

不死身やってこと！



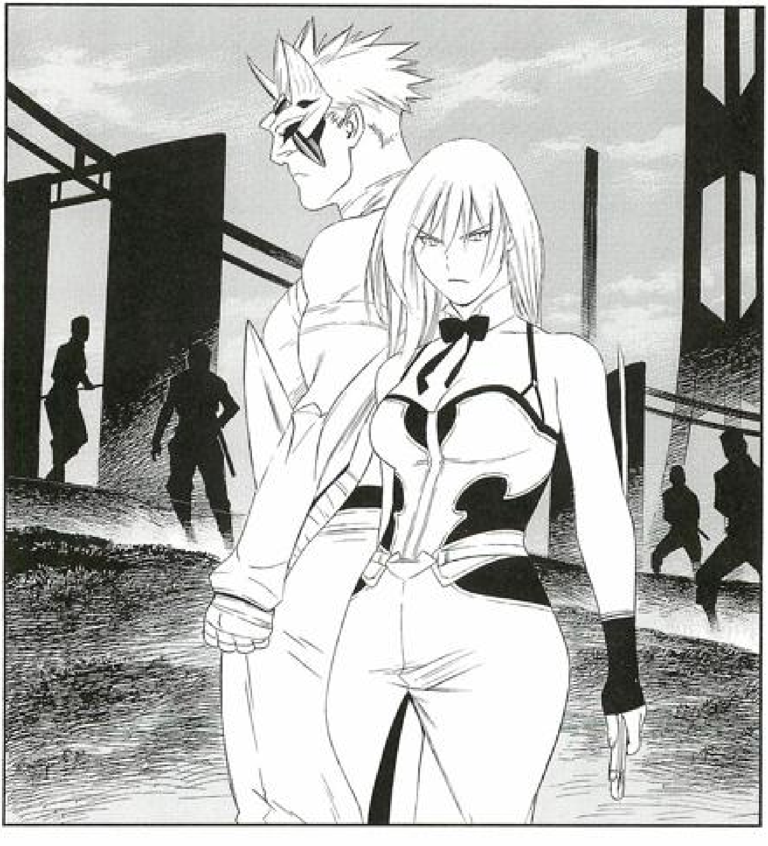
ははっ
今度こそ
場外ホームラン……
キュッ
やっ!?
あら
ガキッ

ドドドドドド
パッ
ドドド
まったく……
ドド

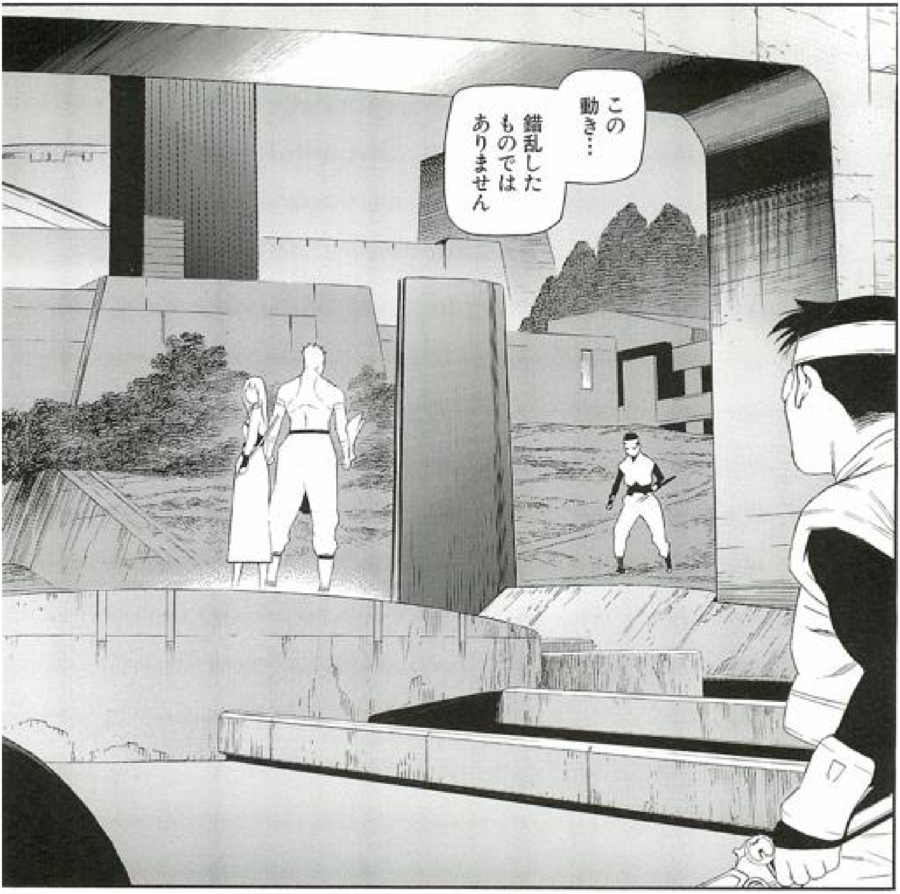
ポッ
なんべんゆうたらわかるん？
ポ
ポ
!?
あんたがいくら頑張っても無駄やの
うちは不死身やし…
はっ
ジュッ

!?
ジュアアア
アアア

ジュウ
ジュウ
ジュウ
ジュウ
ジュウ
最強の
虫幽士やねん
忍法
火眼金晴
すべてを燃えあがらせる灼熱の視線や



また?
例のあれ えーと… 霞衣ってやつ
まったく そろいも そろって
この連中の だらしない ことと きたら…
はっ… しかし 妙です
ん?


この動き…
錯乱したものではありません

未熟とはいえ江土城の兵を
単に錯乱させるだけでなくこうも自在に操るとは…

明らかに
統制されて
います
もしや
術者である
霧隠の
手の者が
すぐ近くに
いるのでは
……
チャ

？
唯常さま？
あ
あのっ
チャッ
放してほしいんですが…
チャッ

ヒュ
ゴキ

ゴッ
ギュ

隼 ケガはない？
ええ… まあ 耳以外は
あーらら いやみったらしい言い方！
細かいこと根に持っちゃってやーねえ
ゴリ
唯常さま
ん？

きゃっ
ドッジャーン
ゴロゴロゴロ
あっ
あっぶないわねっ！投げる時は投げるって言いなさいよ
いえ まあ…
唯常さまならばかわせると思いまして というか仕返しです
何よそれ！お世辞か本音かどっちかにしなさいよ
はっはっ

パチ
パチ
パチ
パチ
はっはっはっ
はっはっ…
いやいや
いいものを
見せて
いただいた
パチ
これが
逸刀流(いっとうりゅう)
巧緻精妙(こうちせいみょう)を
もってなる…
御留流(おとめりゅう)の
威力ですか

また お会いできて 嬉しい…
ご記憶ですかな?
虫幽士が ひとり
三好錆魂と 申す者 ですが

ぶんっ
ポッ
胸冬
あぶないっ
!?

ド
ゴ
ばっ

ドドドドド
ゴッ
ゴッ
ガン
ゴキ
ひっ！

ジリ
ジリ
ジリ
祠千代さま！
ご無事ですか!?
大丈夫だけど…
いったい何が起きたの!?
光だ
え!?
光が見えた
光が走った後に炎が…
!!
ボッ

ド

ドカ
ぐっ…!!

ん〜〜〜ふふふ
ええねええね……
はあはあ
はあ
調子出てきたわ

忍法 火眼金睛
うちの眼光が交叉するところでは
一瞬で炎があがりどんな物も沸きたち爆ぜる
望月がいうには——
位相やらプラズマやらがどうとかなるらしいねんけど
うち細かい理屈は苦手やねん
ただ
チャポッ

これだけは
わかるで
どんな
達人かて
……

光の速さにはかなわへん！

くっ…
胸冬さま
無理です力ずくでどうにかなる相手ではありません
ここはいったん距離をとって…
武器を貸して!
はっ!?

あなたの武器を貸しなさい
早く!!
はっはいっ
!
ほらこっちよ
きなさいデカブツ!

ガガガッ

ズザー
キン

ギギッ
ゴロン
くらえ……

ドド
秘剣焼鍼（やいばり）！

中でも殺助は特別
あいつは不死身なのさ
たとえあんたでも勝てやしないよ…命が惜しきゃ戦わないことだね

ビュ

ド
ザアアアア

チェックメイト！
……って知ってる？
南蛮の言葉でな
「詰み」や
わかってない顔やね
ほなら自分の周りを
よーく見てみ

わかった？
それな「金箍」ゆうて
うちの眼光を強める道具やねん
さっきからチョコチョコ仕掛けててな…
そいつがあると広い範囲をいっぺんに燃やせるねん
中にはあんたみたいにすばしこいのもおるからね
まあ備えってゆーか…
詰め手やね

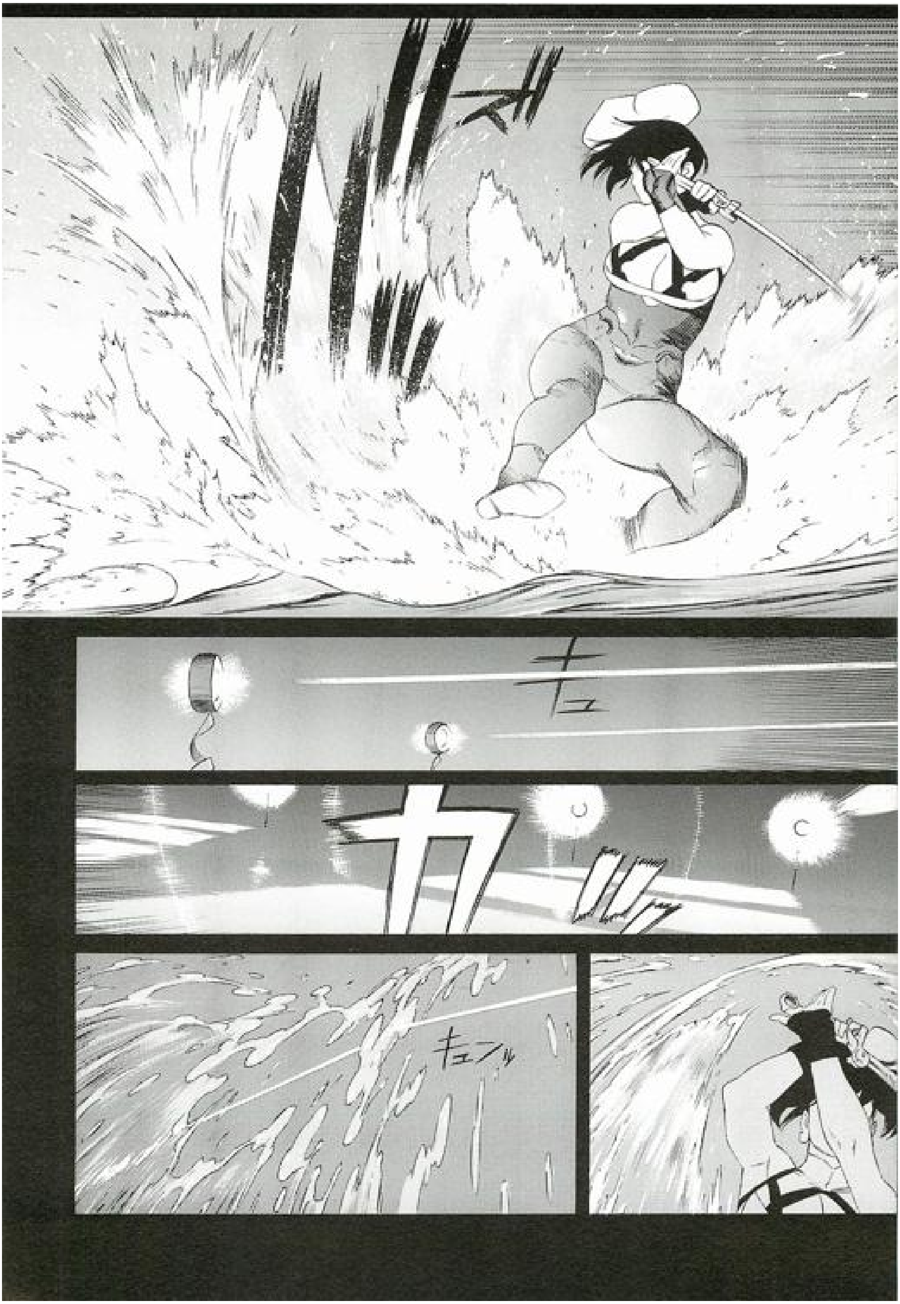
チャッ
ほな そーゆーことやから
なんか言い残すことある?
ある
おまえらの目的は何だ
鞠千代(まつちよ)をつけまわしてこんな騒ぎまで起こして…
今頃になってそんなに幕府と戦争したいのか?
ははっ 戦争? まさかぁ!
うちらむしろご公儀と仲良うしたい思てるんよ
だからさ今日のはふりむいてもらうための…
ちょっとしたイタズラ

だいたいずるいやん
柳生とか本多とか
一部の大名ばっかり贔屓されてさ
うちらもっと平等にしたいだけやねん
実際あんたかて
たっぷりおいしい思いしてたんやろ
ご指南役さま?
知ってる?こーゆーのデモクラシーゆうねんで
南蛮ではやってるらしいてな…
わかったもういい
ん?

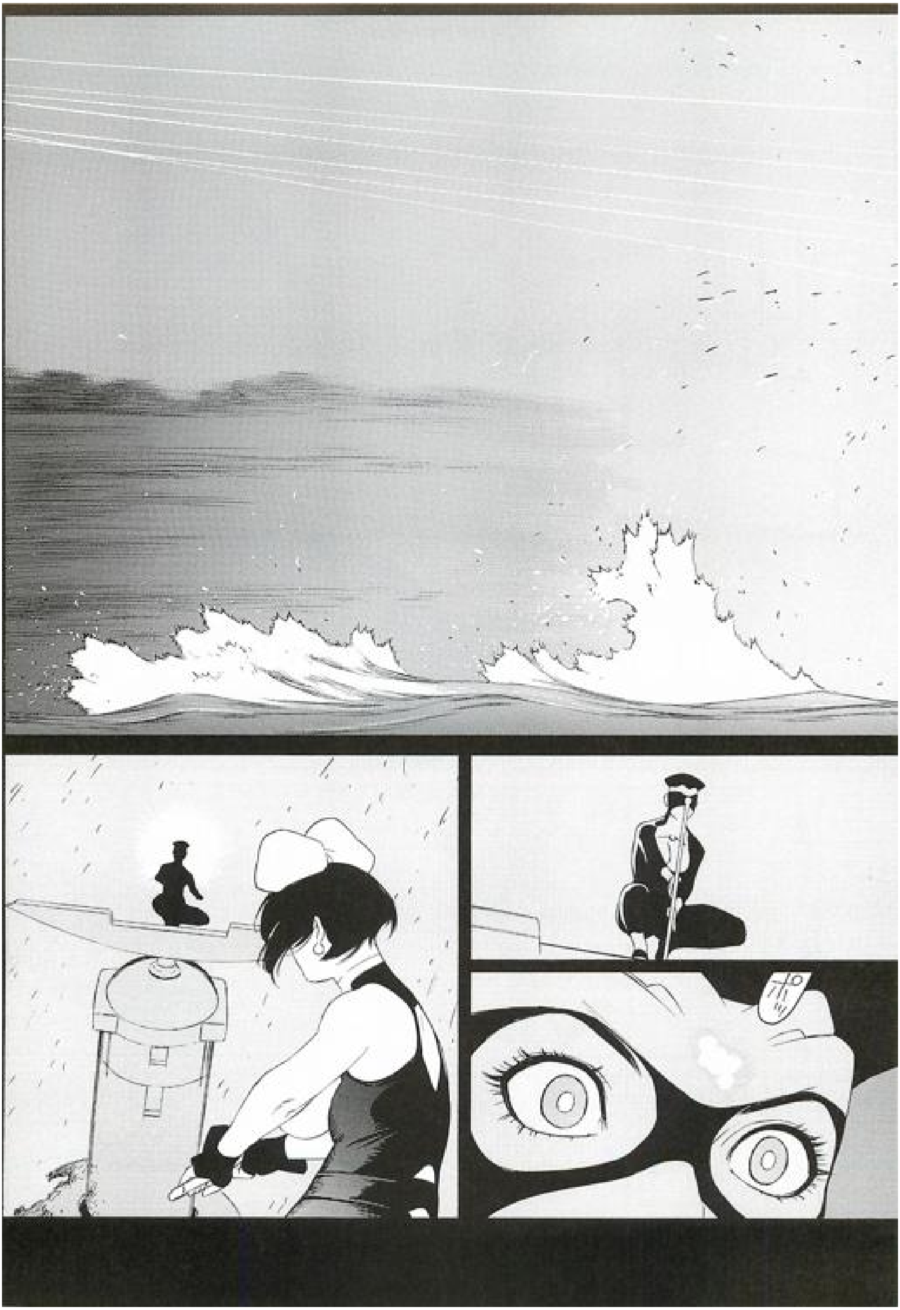
前に おまえの仲間にも 言われたよ
同じ匂いが するってな ……
まったく だぜ おまえら 俺とよく 似てる
死んだ方が いいような
クズだ！

悪いけど…
死ぬのはあんただけさ

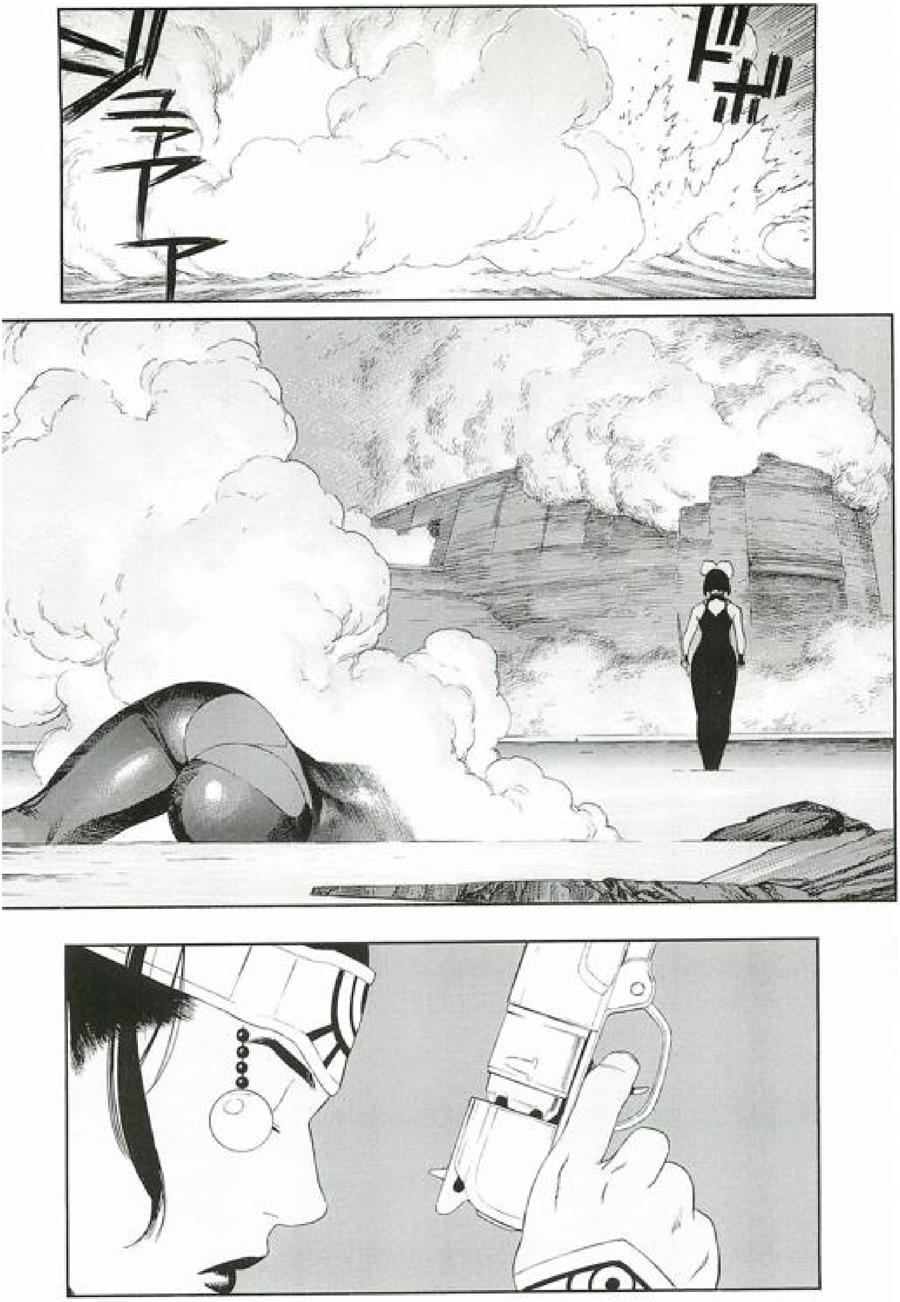
バイバイ
柳生柔兵衛
くらいな
忍法
八卦炉!!

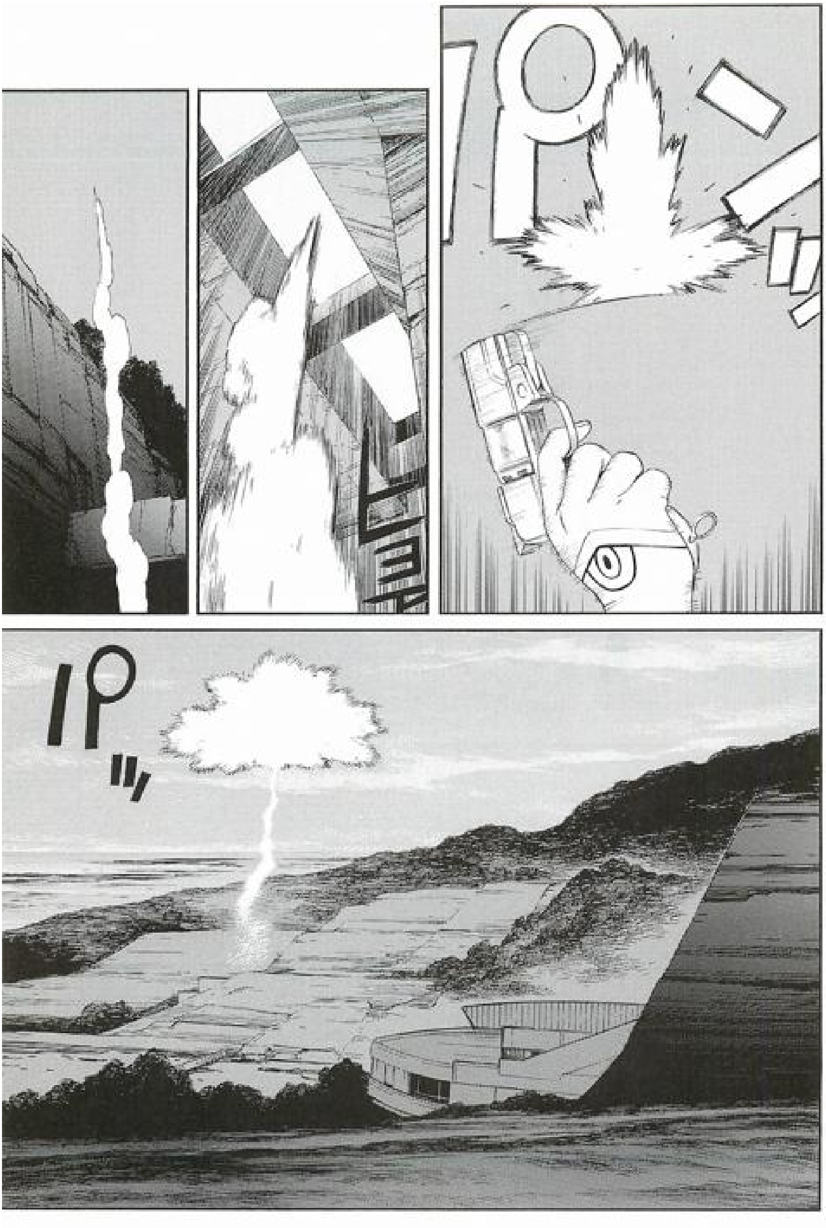

キュ
カッ

!?
キーンッ!



胸冬……
ド ド ド ド ド
パキ





パッ
!
なに!?
残念……
時間切れか

望月――
俺の仲間が打ち上げた発光弾だ
当面の用事はかたづいた急いで引きあげろ
…って合図だ
申し訳ない
せっかくお手並を見せて頂きながら返礼もせずに帰らねばならんとは
いや実に残念
後日ぜひ埋め合わせを…

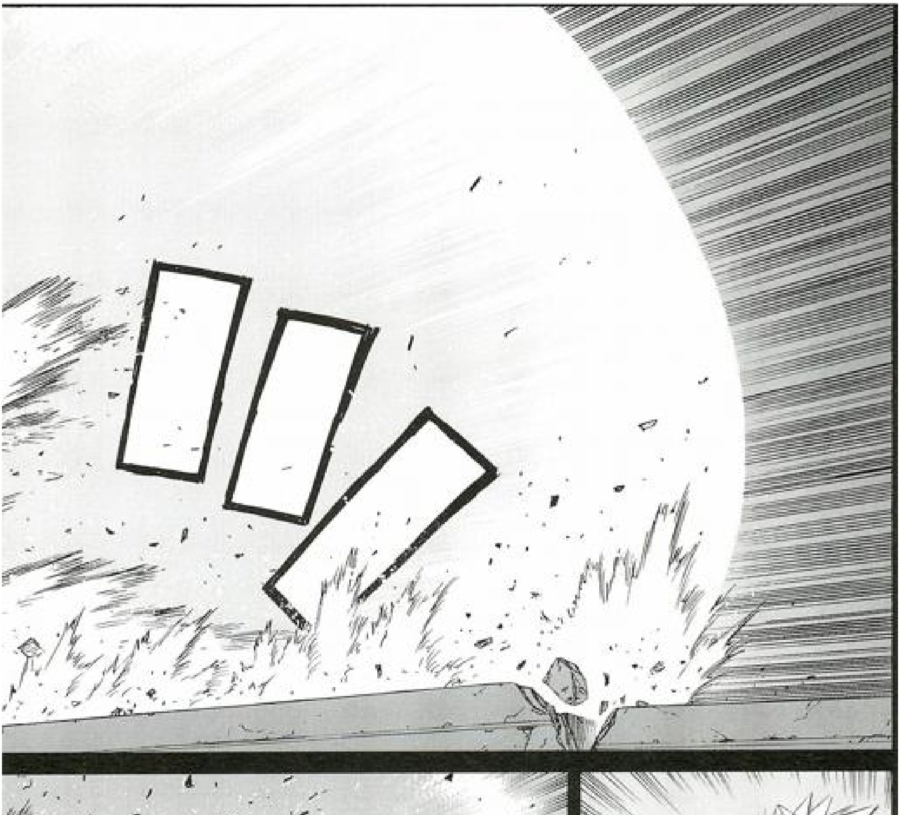
誰が
後日まで待つか！

調千代さまは返してもらったわ！
これで
若君を盾にチョロチョロ立ち回るのはおしまい
このまま無傷で帰れるとでも思う？
ああ
そうそうそうだった
若君を奪い返されてしまったな
いやあまずいことになった…

仕方ない！
こうなっては後日といわず……
今すぐにも我が忍法お見せするしかないようだ
！
唯常さま！
え？

後退を！
祠千代さまを連れて退いて下さい
なっ…
そやつは危険です若君を庇いながら戦える相手ではない
距離をとらねば……
俺は芸のない男でね…
忍法といっても
持ち前の馬鹿力をもう少し強くするだけのもの
少々お恥ずかしいが……

ご覧じよ
忍法五百引!!



ゴ
ガ
もうっ
ひとりで抜け出せるったら！
どうしてそんなに子供扱いするのよ
こんな無茶をなさる人を！
パラパラ
子供と思うなというのが
無茶な注文です
ガゴン
このぐらい何よ！
姉上の無茶に比べれば…

そら見ろ

なっ
何だよ「そら見ろ」って!?
わしの思ったとおりだ！
人外の怪物もよせつけぬ卓抜の剣技……
密厳！
やはりおまえは天下無双の剣士だ！
決めたぞっ！
おまえを召し抱える！わしの兵法師範になるのだ！
おまえなあ…
まだそんなこと言ってんのか
剣なら胸冬たちに教われってのに…

やぁあっ
ぱっ…
バカ！放せよもお！
うんと言うまで放さぬ！
嫌ならこの前のように投げとばせ！
わしも簡単には引きさがらぬぞっ！

何だ…!?

狼煙(のろし)や
てめえっ……!?
!
あいつは……
ザガッ

ドカ
くっ
胸冬さま…

ガ

こいつ
いたたた
生きてやがったか…!

ポ
ああ
あ

あ
あッ
ゴ

きゃはは
はははっ
そらあかんで
柔兵衛はん！

あかんで
口先だけ
捨て鉢な
こと言って
自分だけ
ちゃっかり
若君と楽しん
じゃってさ
ずるい
やん
うちら
同じ穴の貉
やねんから
……
楽しみは
分け合わ
な！

おおっ とっ

と
とっ…

いい加減にしやがれ…
てめえはもう

うんざりなんだよ!!
!?

ガッ
てめえ……
ギンッ

密厳!!
残念でした…
はっ

斬れやしないよ
今のうちは鋼より硬いのさ…
あんたのおかげでね
ボコッ
焼かれて打たれて強くなる
忍法仙丹(せんたん)!
うちが不死身と呼ばれる理由さ

あっ
姉上……
はあ
はあっ

どっちが……？？

チャッ
不思議やなあ…
あんたの言う通り
うちら他人とは思えんわ
短気で欲ばりで
血に飢えてて
何もかも
そっくりやな！

やあっ
あら…
密厳！
何をしている密厳
起きろ密厳
密厳!!

ギィッ!?
ガギッ
ドッ

ゴッ
忍法
爆竹

ヒュル
がはぐっ
うっ
あ

あちゃー
……
あかん
あかん
ごほっ
ごほっ
ぐほっ
どーも
力加減が
わからんで
思わず
放り投げて
もうたがな
堪忍なー
パラ
パラ
遊びの相手なら
後でいくらでも
しますさかい
ちょっと
おとなしく
したってな
なっ
若君?
みっ
密厳
……!

あーっ　もう！
なんで　わからへんの
こんな女
おらんでも
うちがお世話
してあげるて
ゆうてるのに
たとえば
悪い奴が
おっても
守って
あげるし
兵法も
教えて
あげるし
他のこと
やって…

密厳 死ぬな——っ!!

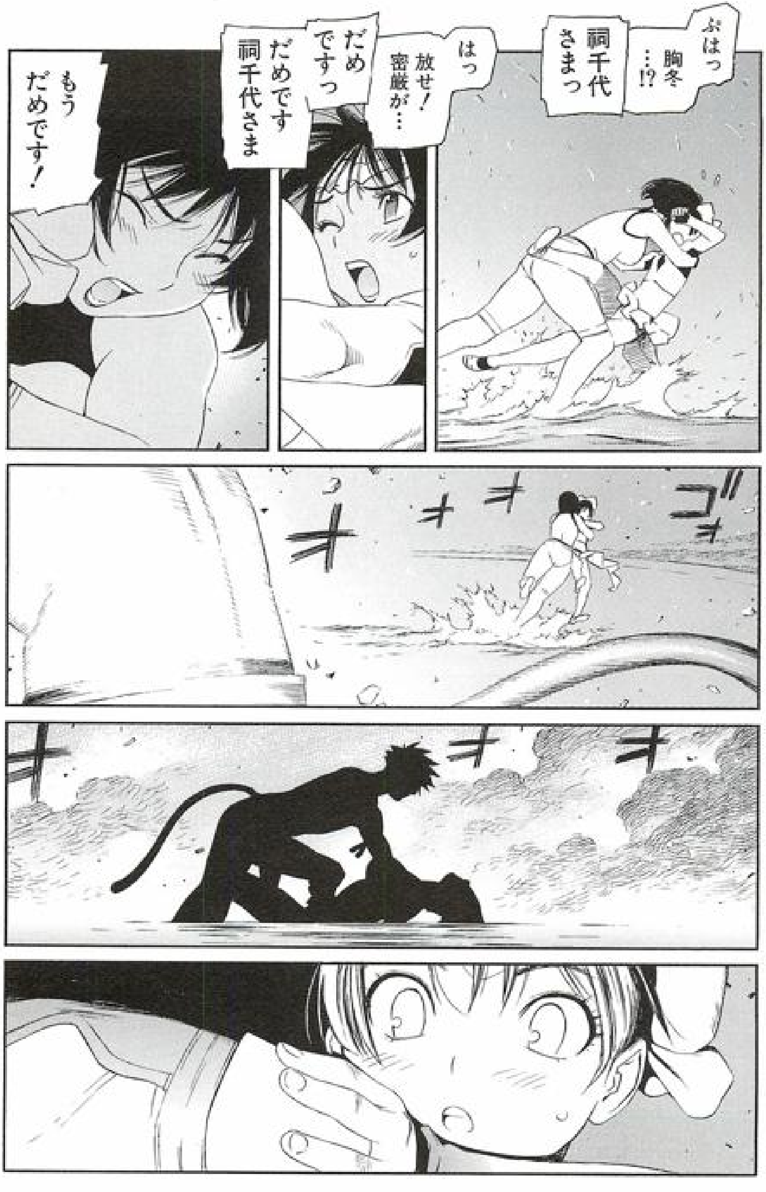
ストッ

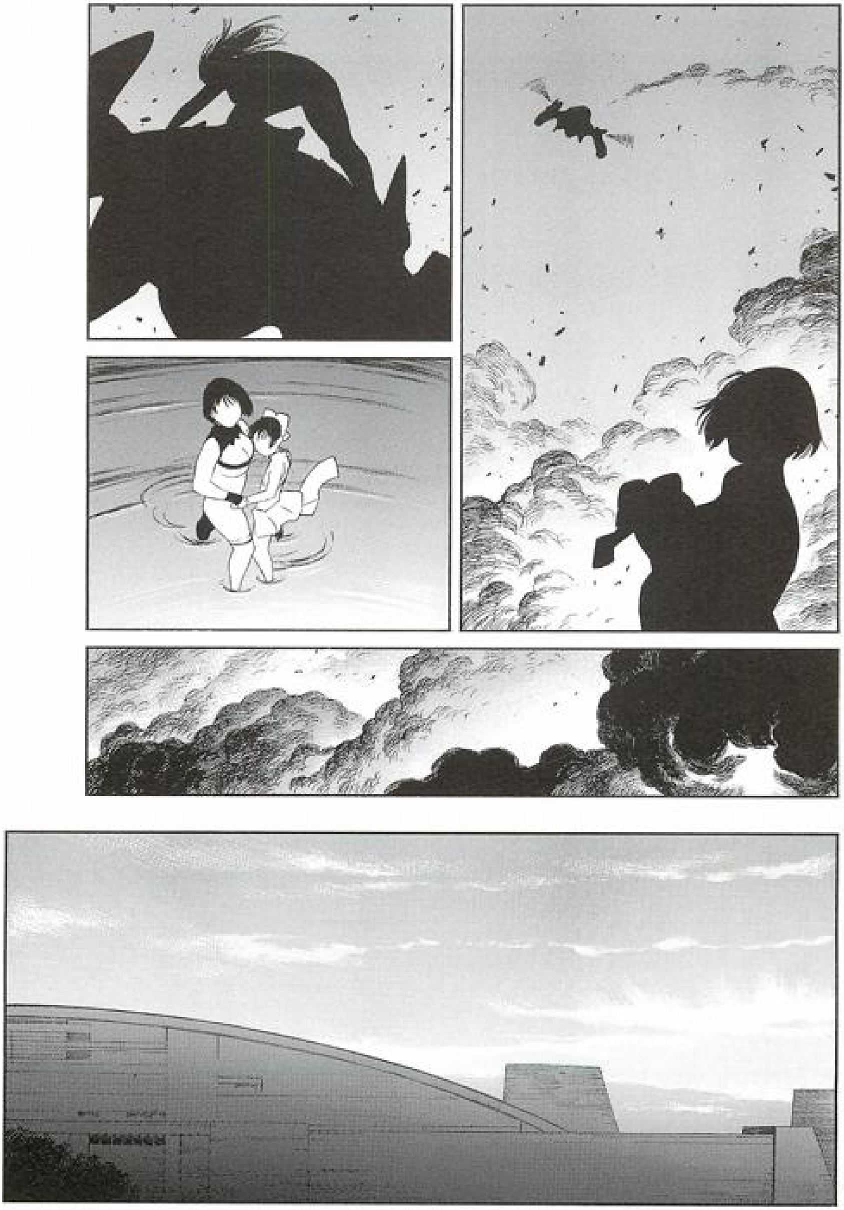
あ？

なっ…
おっ
おまえ
どうして……!?
ガシャ
おあァ!!

あ
アァァ
がっ
はあっ!!
ああああ

おああっ
みつっ…
密厳
!?


ぷはっ 胸冬…!?
祠千代さまっ
はっ 放せ！ 密厳が…
だめ ですっ
だめです 祠千代さま
もう だめです！
ゴォォォォ
ォォォ



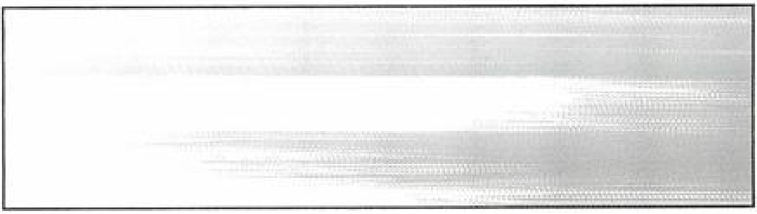
……ああ…
豹牙 ここ… 地獄か？
いいえ 密厳さま

おまえさ
夢ってある？

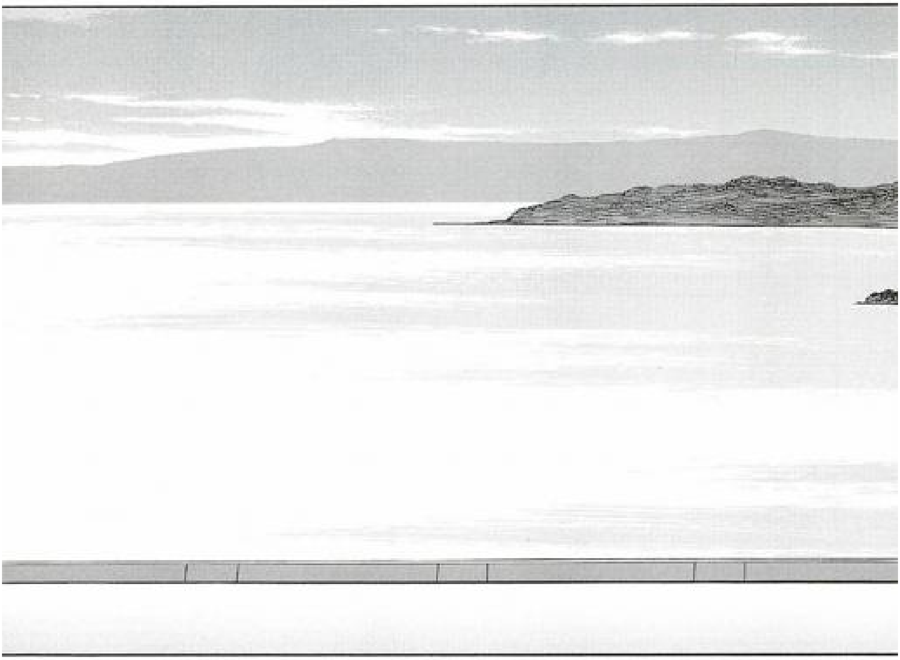
こんなことが
したいとか

こんな風に
なりたいなー

……とか



夢はありません
私は暗鬼です
あなたに仕え
あなたを守る
私は



それ以外の
自分になど
なりたくない

おまえのように
なりたいのだ

隻眼獣

Mitsuyoshi

第参巻

【終】

DengekiComics

隻眼獣ミツヨシ③

2007年9月25日　初版発行

著者	上山徹郎
発行者	久木敏行
発行所	株式会社メディアワークス　〒101-8305　東京都千代田区神田駿河台1-8　東京YWCA会館 電話03-5281-5215(編集)
発売元	株式会社角川グループパブリッシング　〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3 電話03-5238-8605(営業)
カバー・本文デザイン	亀口和明
装丁	荻窪裕司
印刷・製本	図書印刷株式会社

©TETSURO UEYAMA

Ⓡ本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

初出／電撃大王 2004年12月号～2005年11月号(メディアワークス刊)

ISBN978-4-8402-4045-1 C0979